

# IV. レバレッジ比率に関する開示事項

## 1. 連結レバレッジ比率の構成に関する事項

(単位：百万円)

国際様式 (表2)の 該当番号	国際様式 (表1)の 該当番号	項目	2022年度 中間期末	2021年度 中間期末
<b>オン・バランス資産の額</b>				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	8,464,116	8,407,833
1a	1	連結貸借対照表における総資産の額	8,495,502	8,427,220
1b	2	連結レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額 (△)	—	—
1c	7	連結レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	—	—
1d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)	31,386	19,386
2	7	Tier1資本に係る調整項目の額 (△)	36,291	36,683
3		オン・バランス資産の額 (イ)	8,427,825	8,371,150
<b>デリバティブ取引等に関する額</b>				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額		
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	7,881	7,612
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額		
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	21,517	21,188
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	17,514	2,588
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額		
		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)	—	—
8		清算会員である銀行又は銀行持株会社が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)		
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	—
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	46,913	31,390
<b>レポ取引等に関する額</b>				
12		レポ取引等に関する資産の額	—	—
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	2,642	3,636
15		代理取引のエクスポージャーの額		
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	2,642	3,636
<b>オフ・バランス取引に関する額</b>				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	439,487	448,914
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	356,547	358,544
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	82,939	90,369
<b>連結レバレッジ比率</b>				
20		資本の額 (ホ)	458,463	523,786
21	8	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)	8,560,321	8,496,546
22		連結レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))	5.35%	6.16%
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率</b>				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	8,560,321	8,496,546
		日本銀行に対する預け金の額	1,485,537	2,400,404
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	10,045,859	10,896,950
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ'))	4.56%	4.80%

## 2. 前中間連結会計年度の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因 (当該差異がある場合に限る。)

2022年度中間期末の連結レバレッジ比率は、前中間連結会計年度に対し0.81%低下し5.35%となりました。

株式市場の下落や金利上昇の影響により、資本の額に含まれる有価証券評価差額金が減少したことが主な要因となっております。

### 3. 単体レバレッジ比率の構成に関する事項

(単位：百万円)

国際様式 (表2)の 該当番号	国際様式 (表1)の 該当番号	項 目	2022年度 中間期末	2021年度 中間期末	
<b>オン・バランス資産の額</b>					
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	8,436,739	8,388,100	
	1a	1	貸借対照表における総資産の額	8,468,125	8,407,486
	1b	3	貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)	31,386	19,386
2	7	Tier1資本に係る調整項目の額 (△)	35,421	35,770	
3		オン・バランス資産の額 (イ)	8,401,317	8,352,330	
<b>デリバティブ取引等に関する額</b>					
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額			
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	7,881	7,612	
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額			
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	21,517	21,188	
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	17,514	2,588	
6		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額			
		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—	
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)	—	—	
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)			
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—	
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	—	
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	46,913	31,390	
<b>レポ取引等に関する額</b>					
12		レポ取引等に関する資産の額	—	—	
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—	
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	2,642	3,636	
15		代理取引のエクスポージャーの額			
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	2,642	3,636	
<b>オフ・バランス取引に関する額</b>					
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	439,449	448,838	
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	356,528	358,507	
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	82,920	90,331	
<b>単体レバレッジ比率</b>					
20		資本の額 (ホ)	421,425	491,949	
21	8	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)	8,533,794	8,477,688	
22		単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))	4.93%	5.80%	
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率</b>					
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	8,533,794	8,477,688	
		日本銀行に対する預け金の額	1,485,537	2,400,404	
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	10,019,332	10,878,092	
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ'))	4.20%	4.52%	

### 4. 前中間事業年度の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因

2022年度中間期末の単体レバレッジ比率は、前中間事業年度に対し0.87%低下し4.93%となりました。

株式市場の下落や金利上昇の影響により、資本の額に含まれる有価証券評価差額金が減少したことが主な要因となっております。